

グリーン・ツーリズムで栃木を元気にしよう

●ある農家の夕食後

- (妻)「おもてなし」のネットワークを創って、まちとむらの交流を盛んにできないかな?
- (夫) それってどういう意味?
- (妻) むらにはいろんな「おもてなし」があるでしょ。観光名所だけでなく、田んぼや畑、山や川を眺めているだけでも癒されるし、食べる、買う、体験する、学ぶ、遊ぶ、泊まるなど、「農」とつながっている楽しみがたくさん味わえるわよ。
- (夫) そういう楽しみが「グリーン・ツーリズム」^{*}だって聞いたことがあるけど・・・
- (妻) そう、簡単にいえば「緑豊かなむらで自然、文化、人々との交流などを楽しむ旅」。元々はヨーロッパで使われていたことばだけど、日本では約20年前に国の政策として採り入れられたんですって。
- 栃木には、こうした楽しみが結構ありますよ。例えば、農産物直売所、農村レストラン、加工体験施設、市民農園、農家民宿・民泊などね。道の駅にある直売所や地場産の食材を使ったレストランなどを利用した人たちも多いと思う。
- (夫) 道の駅はわかりやすいけど、むらのいろんな楽しみを「おすそわけ」してもらうには、個々のサービスをつなげて訪れる人に紹介できればいいし、そのほうがむらへの親しみも増すんじゃないかな。
- (妻) そう、むらを元気づけるためにも、「農」の暮らしにふれる「おもてなし」のネットワークを、今「農」に関わるサービスを提供している人たちでは非創りたい!もちろん、むらの楽しみをこれから「おすそわけ」したいと思っている人も一緒にね。

栃木県では、農村地域におけるこれまでの「食べる」「観る」といった短期滞在型交流に、「泊まる」「体験する」「学ぶ」といった新たな要素を加え、長期滞在型交流への発展を推進し、農村地域の活性化を図ることを目的に、栃木グリーン・ツーリズム推進事業を展開していきます。事業期間は平成25~29年度を予定しています。

グリーン・ツーリズムの推進には、農業者や事業者など様々な実践者が一緒になって魅力的なプログラムを企画するための、地域を越えた連携の場づくりが必要です。

栃木県グリーン・ツーリズムネットワークは、実践者同士の連携の場であり、会員相互の情報交換、先進事例の収集、ワークショップによるプランの作成などに取り組み、民間主体の組織として自立していくことを目指します。

■事業主体：栃木県農政部農村振興課 ☎320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20

TEL.028-623-2333

■事務局：とちぎ協働デザインリーグ（とちぎボランティアNPOセンター運営団体）

〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和2-2-7 TEL.028-623-3455

栃木県 グリーン・ツーリズム ネットワーク

栃木グリーン・ツーリズム推進事業



「農」と「食」につながっている楽しみや
むらの暮らしを「おすそわけ」
栃木のむらを元気づける
「おもてなし」のネットワークを!



栃木県／とちぎ協働デザインリーグ

